

# 親子を対象とした小売店で行う「来店型花育」

作成者：「みやざき花で彩る未来」推進協議会

- 対象者・人数：親子対象 333組（H25年度実績）
- 所要時間：※店舗での実施内容により異なる
- 対象場所：小売店 店舗内（もしくは最寄りの公民館等）
- 指導者・アシスタント人数：小売店スタッフ 1，2名程度



「みやざき花で彩る未来」推進協議会は、「みやざきの花」普及促進協議会を引き継ぎ、平成20年に発足。県内花き消費拡大のための活動を展開し、県民に花を通じた安らぎと潤いのある生活を推進するとともに、高品質でオリジナル性の高い県産花きのPR等、県産花きの生産に資することを目的としている。協議会のメンバーは、宮崎県卸売市場連絡協議会、宮崎県生花商組合連合会、宮崎県花き生産者連合会、宮崎県JA花き協議会、宮崎県JA宮崎経済連、宮崎県で構成している。

協議会では、平成23年度から、みやざき「花の日」毎月7、8日に県内の加盟小売店で、親子を対象とした「来店型花育」に取り組んでいる。

「来店型花育」とは、学校等に出向いて大人数を対象に行う従来の「花育（出前型花育）」とは異なり、小売店舗内で少人数を対象に実施する。

小売店に足を運ぶきっかけ作りになることや、親子で体験することで、その後の家庭内での話題作りにも貢献している。

## 【指導内容と目的】

### ○指導内容

- ・親子で1つの作品を協力しながら作ってもらう。
- ・テーマを決め、それに沿った内容のアレンジメントを作成する。
- ・花材に宮崎県産の花を使用することで、県産花きのPRにもつながる。
- ・子どもだけでなく、親子を対象とすることで、直近の購買層（親世代）と将来的な購買層（子世代）への働きかけができる。

## 1 全体計画・スケジュール及び事前準備

出前型花育の全体計画は、「みやざき花で彩る未来」推進協議会事務局が行っている。

①年度当初に、来店型花育に取り組む店舗の要望を取りまとめる。

実施する時期、回数、人数等について調査。

※要望が多い場合は調整する。

②年間実施計画ができれば、新聞広告で定期的に案内を行う。

③実施する曜日や時間なども、店舗の実情に応じてそれぞれで異なるため、新聞広告には参加店舗の連絡先が記載されている。

④来店型花育終了後は、アンケートの実施と報告書の提出を行う。



## 2 実施内容の詳細(平成25年2月の実施例)

店舗名	実施日	曜日	開始時間	参加組	花育内容	使用花材
A店	2月17日	日	13:00	3	スイートピーを使った「春のアレンジ」	スイートピー（ファーストレディー・エンジェル）、カーネーション（フロリダ）、チューリップ
B店	2月16日 2月17日	土 日	14:00	2	スイートピーを使った「春のアレンジ」	スイートピー4色（赤・白・ピンク・紫）、Sカーネーション（グリーン）、チューリップ（ピンク）、かすみ草
C店	2月2日	土	10:30	2	スイートピーを使った「春のアレンジ」	スイートピー4種×6本、ゼンマイ、菜の花、スプレーバラ、スマイラックス
D店	2月24日	日	13:00	12	スイートピーを使ったアレンジ	スイートピー、ガーベラ、アスパラナガス、パセリ苗
E店	2月20日	水	17:00	5	スイートピーを使った、お雛様アレンジ	スイートピー、ソリダゴなど
F店	2月17日	日	10:30	10	スイートピーを使った「春のアレンジ」	スイートピー、チューリップ、桃、菜の花、レザーファン
G店	2月24日	日	16:00	6	スイートピーを使った春のお花たち	スイートピー、チューリップ、ガーベラ、ヒペリカム

- ・日時、参加人数は店舗により異なる。
- ・テーマは「スイートピーを使ったアレンジ」が多かった。
- ・資材や花材は店舗ごとに工夫を凝らしている

### 3 当日の流れ

クリスマスをテーマにアレンジメントを作成した事例（親子7組が参加）

#### ① 開始前の風景

店舗内のスペースに準備された花材。

教室の机が置いてある場所は普段は商品が陳列されている場所。

早く来店した子どもたちは早くやりたくて仕方がない様子。



#### 【花材】

ヒバ・ガーベラ・カーネーション

サンキライ・ヒペリカム・リンゴなど。

※十分なスペースが無い店舗は、隣接する公民館等で実施する場合があります。

#### ② スタッフによる説明

わかりやすいように丁寧に道具の使い方や作り方を説明する。

子ども達も真剣に説明を聞いている。

このとき、使用する花の名前や産地などの説明もあると良い。



#### ③ 黙々と取り組む姿

子供達も真剣に作業に取り組んでいる。

それぞれの感性、アイデアで様々なアレンジを行っていた。



#### ④ 完成作品

クリスマスをテーマに、キャンドルを活かしたアレンジの完成。



完成した子どもたちに  
店舗オリジナルの賞状を贈る



**■ 実施する上での課題**

- ・リピーターが多く、消費者が店舗に足を運ぶ回数は増えているが、新規の来店者を確保するための工夫が必要である。
- ・店舗の広さや、スタッフの数が少ない（夫婦のみで経営している場合）など、積極的に取り組めない店舗がある。

**■ 改善点等**

- ・複数回参加しているリピーターは参加費を負担してもらうなど、新規の枠を広げる工夫をする。
- ・来店型花育に取り組めない店舗は、出前型花育で対応する。
- ・来店型花育をきっかけに、購買を目的として来店する消費者が増えてきている。

**■ 参加者からの感想**

来店型花育の実施後には、実施店舗からの報告書の提出と、参加者に対してアンケートを実施している。

（以下、その報告書とアンケートの内容から抜粋）

**【報告書：実施店舗の感想】**

- ・宮崎の花をアピールするためにスイートピーの花束のプレゼントを行いました。小さい子供には少し難しかったようです。反省
- ・今回も大変喜んでいただけました。無料というので参加しやすいのがありますね！前回参加された方は、花壇をわざわざ作られて苗を買いに来られました。「花育」に効果がありました。
- ・「花育」でアレンジ教室は初の実施でした。親子は1組でしたが、とても喜んでくれました。次回からの花育でも積極的に呼び込んで、どんどん参加して下さる方が増えるといいです。
- ・「かわいい！」「パパにあげよう！」と出来上がりを見てみなさん満足気でした。次回も参加したいと言っています。男性の参加を促せるテーマがあると、もっと幅が広がると思います。
- ・今回は4組の親子が参加してくださいました。それぞれ自由な感じでアレンジメントを作成していただきました。親子で花を触れ合いながら楽しい時間を過ごせたと思います。是非次回も参加したいとの声をいただきました。
- ・すごく喜んでいただけました。花育のPRが弱く、参加人数が少なかった。これからはもう少しPR（チラシなど作り）など強化していきます。

- ・手軽にできることもあって、大変喜ばれました。常連さんが複数いて、うれしいことではありますが新しい人々を取り入れる努力をしていかなければと思っております。
  - ・今回は女の子が多かったので3/3がひな祭りということもあり、日南産のスイートピーを使って、桃の節句のアレンジを作りました。時間的には30~40分で皆さん完成されました。楽しそうに作ってくれて、本当に良かったです。
  - ・今回のレッスンの対象者はほとんどが小学生で女の子でした。前回までのレッスンから、今回も春にちなんで「てんとう虫」のピックをアレンジに加えたところ、子どもたちにとっても好評でした。子どもたちだけでなく親御さんも一緒に楽しみながらアレンジ造りに取り組んでいる様子がみられました。今回の参加者は以前もフラワーアレンジに参加した方が多く、また、お店出していた広告を見て申し込まれた方が多かったようです。次回も参加したいと考えている方が多くみられました。
- 親子で花に触れることが良い体験になると考えている方が多く、花育でフラワーアレンジメントを定期的実施することで、花の種類や形に興味を持つ良いきっかけになっていると考えられます。少しずつではありますが、花への魅力を伝えられているのではないかと思います。また、参加申し込み状況を見ても、花育の情報も広まっていると実感することができます。今後も花育を通して、花について知り触れ合うことの大切さを伝えられるようなアレンジレッスンをしていきたいと考えます。それと同時に、もっと多くの方に花育を認知してもらうため、告知の方法も考えていきたいと思います。

#### 【アンケート：参加者の感想】

- ・男の子ですが、とても楽しめました。「また参加したい」と終わるころには話していました。お花はやっぱりいいですね、ありがとうございました。（43歳女性、8歳男児）
- ・親子で2回目でしたが、早速家でもまねて作りました。とてもよい体験をさせていただきありがとうございました。（41歳女性、7歳女児）
- ・庭に植える花のレッスンを希望します。街全体が花であふれた町づくり出来たらいいですね！（36歳女性、5歳女児）
- ・生花をなかなか購入することもなく、こうしてアレンジを指導してもらおうと、今度は自分で購入して挑戦してみようと思います。（35歳女性、5歳女児）
- ・花屋さんに来る機会もフラワーアレンジメントする機会もないので、もっとこういう機会があ

るといいなと思いました。子供も親もたのしかったです。ありがとうございました。（28歳・29歳夫妻、5歳男児、3歳女児）

#### □ 親子でお花に触れることの大切さ

・花の魅力親子で感じながら、会話をしながら作品を完成させていく過程は「なごやかであり、親しみのある時間」となります。

また、花屋さん側も「花のある生活」の魅力を確認できる良い機会となっています。

- ・親子の会話を聞きながら、ほほえましい時間が過ぎていきます。
- ・おとうさんの参加も目立ちます。



・屋外でのコンテナガーデニング。

このあと家でも「花壇を作りました」との声を聞きました。

